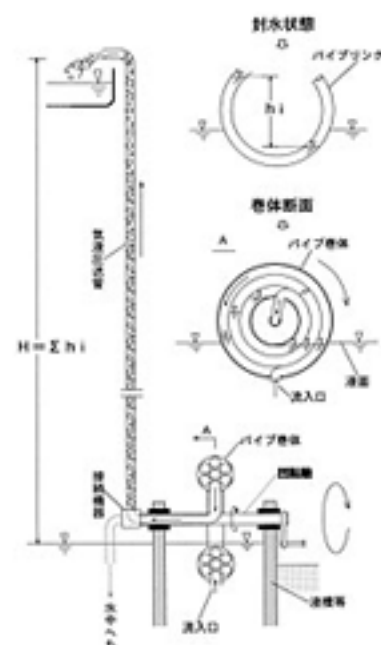


混相流（気液二相流）から圧送力を生む新原理の気液ポンプ

【技術・製品の概要と特徴】

パイプを巻いた巻き体を回転させ、気体と液体を交互に確保し気液二相流を起こすことで圧送力を生み出す単純構造の気液ポンプ。

パイプの巻き体を水面近くに設けて回転させ、パイプの一端の流入口を回転ごとに水中に浸し、気体と液体を交互に汲み込んでパイプの各リング内を封水状態にしたまま回転する。これにより、回転力は各リングの封水状態の内部へ自動的に圧力となって蓄積され圧送力となる仕組み。



【用 途】

- (1) 無騒音・無振動的な空気圧縮、真空ポンプ
- (2) 水中送気して溶存酸素の増強や底層の富酸素水化
- (3) 堰、水門のない場所での取水ポンプ

【希望する技術移転の(1)形態・(2)相手先・(3)地域】

- (1) 特許実施権供与、生産委託
- (2) 企業規模不問
- (3) 国内に限る

【開発段階】

実験（完了） 製造・販売実績（無）
関連特許（有・出願中）

【提供可能資料など】

技術資料、原理模型で出張説明可能